

2026

# 共通テスト 同傾向の問題



歴史総合、  
世界史探究

## 「関税と貿易に関する一般協定（ガット〈GATT〉）に関する問題

### 共通テスト

#### 第5問 問4

問 4 4班は、第二次世界大戦直後に締結されたある協定を取り上げ、その第1条（資料3）を基に考察し、その内容をノートにまとめた。ノート中の空欄〔ウ〕・〔エ〕に入る語句の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 31

資料3

輸出入の際に課される関税と手数料に関して、一つの締結国が、輸出入される産物に対して有する利益、恩恵、特権は、他のあらゆる締結国にも、即刻かつ無条件に認められる。

ノート

- この協定は、第二次世界大戦後の経済的な世界秩序を築くことを、目的としていた。
- この協定が締結された歴史的背景として、〔ウ〕への反省がある。
- イギリスは消極的な姿勢を示していたのに対して、〔エ〕は、この協定の成立に積極的な役割を果たした。

- ① ウ—株式市場で投機的な動きが活発化し、アジア通貨危機が発生したこと  
エ—アメリカ合衆国
- ② ウ—株式市場で投機的な動きが活発化し、アジア通貨危機が発生したこと  
エ—ソ連
- ③ ウ—ブロック経済の成立によって、世界経済が分断されたこと  
エ—アメリカ合衆国
- ④ ウ—ブロック経済の成立によって、世界経済が分断されたこと  
エ—ソ連

### 河合塾

#### 2024年度(2025年度高3生受験) 全統共通テスト高2模試 第1問 問6

C 日本も加わった第二次世界大戦後の国際経済体制について、生徒たちが資料を準備して、先生のアドバイスを受けながら資料の説明を作成した。

資料の説明

- 資料は、1947年に23カ国で調印され、翌年に発効した協定の一部で、日本は1955年にこの協定に正式に加盟した。
- 第1条では、この協定の加盟国が別の協定加盟国に与えた貿易上の利益や特典などは、無条件に他のすべての協定加盟国にも適用することを定めている。
- 第11条では、原則として関税・課徴金（国が徴収する租税以外の金銭）以外の貿易上の制限を設けてはならないことを定めている。

問 6 生徒たちが準備したと考えられる資料の協定の略称として最も適当なものあ～うと、資料の説明から読み取れる協定の目的X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

資料の協定の略称

あ GATT い NATO う COMECON

読み取れる協定の目的

- X 協定の加盟国間で、自由貿易体制を構築して、世界経済の成長を促す。  
Y 協定に加盟する各国の産業を保護育成するために、貿易を制限する。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X  
④ い—Y ⑤ う—X ⑥ う—Y

第二次世界大戦後における国際貿易体制の基本方針であるガット（GATT）が成立した歴史的背景および、ガット成立の中心となった国との組合せを問う問題。2024年度全統共通テスト高2模試の「資料の説明」が共通テスト本試験「資料3」とほぼ合致しているため、受験後にしっかり復習を行い、ガットへの理解を深めた受験生にとっては、「資料3」がガットの内容であることに気付き、その背景となる「ブロック経済の成立によって、世界経済が分断されたこと」を容易に選べたであろう。